

★注意事項★

- ①パキロビッド®パックにはブースターとして**リトナビル (Strong CYP3A inhibitor)** が含有されています。
リトナビルは**各種薬物代謝酵素やトランスポーター阻害作用**を有し、**併用薬剤の血中濃度上昇、副作用を増強させる可能性**があります。
- ②本リストは本邦で使用されている**全ての薬剤との潜在的な相互作用を列挙・注意喚起できているわけではありません。**
また、本リストに**掲載のない薬剤が全てパキロビッド®パックと安全に併用可能であることを保証するものではありません。**
- ③本リストに掲載している**添付文書上の「禁忌」に該当しない薬剤については、必ずしも使用(併用)を妨げるものではありません。**
- ④「AUC比」欄の括弧内はDDI-Predictor 及び/又は CR-IR法による**予測値**を示しています。
DDI-Predictor、CR-IR法による**予測精度は予測値の概ね67～150%の範囲**となることをご理解の上、本リストを利用して下さい。
- ⑤パキロビッド®パック使用にあたっては、**患者個別、薬剤個別に併用薬の血中濃度変化の臨床的重要性を評価し使用(併用)の適否を検討**して下さい。
(「備考」欄には対応の一例としてLexicomp®の「Patient Management」を抜粋して記載しています。参考情報としてご利用下さい。)
- ⑥COVID-19重症化抑制を優先し併用薬を中断した場合、**パキロビッド®パック投与終了後少なくとも3日程空けて投与再開を検討**して下さい。
- ⑦パキロビッド®パック使用にあたっては、**最新の添付文書及び各種ガイドライン等を参照して使用の適否を検討**して下さい。
- ⑧医療従事者が本リストを活用される際には、**各自の判断と責任のもと**にご利用下さい。

Risk Ratings (Lexicomp®)

- X** : Avoid Combination
D : Consider Therapy Modification
C : Monitor Therapy
B : No Action Needed

Key to Symbols (University of Liverpool)

- : Drugs that should not be coadministered
■ : Potential clinically significant interaction
▲ : Potential weak interaction
◆ : No clinically significant interaction expected

一般名	販売名	添付文書	Lexicomp®	LIVERPOOL	想定される曝露量増減	AUC比 (予測値)	備考
アカラブルチニブ	カルケンス	-	X	●	↑ アカラブルチニブ	(3.04)	
アキシチニブ	インライタ	-	D	-	↑ アキシチニブ	(1.67)	アキシチニブを50%減量
アゼルニジピン	カルブロック レザルタス	禁忌	-	-	↑ アゼルニジピン	(2.16)	
アトルバスタチン	アトーゼット アマルエット カデュエット リピトール	注意	D	■	↑ アトルバスタチン	(2.16)	アトルバスタチンの一時休薬を検討
アナモレリン	エドルミズ	-	-	-	↑ アナモレリン	(2.20)	禁忌：リトナビル含有製剤投与中の患者(cf. エドルミズ錠添付文書)
アバコバン	ダブネオス	-	D	-	↑ アバコバン	(1.82)	アバコバンを30mg1日1回へ減量
アパルタミド	アーリーダ	禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	↑ アパルタミド
アピキサバン	エリキュース	注意	D	●	↑ アピキサバン	(1.65)	アピキサバンを50%減量
アフアチニブ	ジオトリフ	注意	D	■	↑ アフアチニブ	1.48	副作用をモニターし、要時アフアチニブを10mg減量
アブレピタント	イメンド	-	X	■	↑ アブレピタント	(2.84)	
アベマシクリブ	ページニオ	-	D	■	↑ アベマシクリブ	(1.40)	併用時アベマシクリブを1段階減量考慮
アミオダロン	アンカロン	禁忌	X	●	↑ アミオダロン	-	併用が必要な場合は、アミオダロン血中濃度・作用をモニター
アムロジピン	アイミクス アマルエット アムパロ アムロジン イルアミクス エックスフォージ カデュエット カムシア ザクラス ジルムロ テラムロ ノルバスク ミカトリオ ミカムロ ユニシア	注意	C	■	↑ アムロジピン	1.99	副作用(低血圧、浮腫 等)をモニター
アリスキレン	ラジレス	-	X	●	↑ アリスキレン	(3.37)	副作用(低血圧、腎障害 等)をモニター
アリピブラゾール	エビリファイ	-	D	■	↑ アリピブラゾール	(1.66)	アリピブラゾールを50%減量
アルブラゾラム	コンスタン ソラナックス	注意	X	■	↑ アルブラゾラム	2.50	アルブラゾラムを50%減量
アンピロキシカム	フルカム	禁忌	-	-	↑ アンピロキシカム	-	
イストラデフィリン	ノウリアスト	-	D	-	↑ イストラデフィリン	(1.90)	イストラデフィリン上限20mg/day
イトラコナゾール	イトリゾール	注意	D	■	↑ ニルマトレルビル/rtv ↑ イトラコナゾール	1.39 -	イトラコナゾール上限200mg/day
イバブラジン	コララン	禁忌	X	●	↑ イバブラジン	(3.12)	
イブルチニブ	イムブルピカ	注意	X	●	↑ イブルチニブ	(2.97)	
イマチニブ	グリバック	-	C	■	↑ イマチニブ	(1.38)	
イリノテカン	オニバイド カンプト トポテシン	注意	D	-	↑ イリノテカン	3.00	イリノテカン投与中及び投与前1週間はStrong CYP3A inhibitorの投与を避ける
インダバミド	ナトリックス	-	-	■	↑ インダバミド	-	パキロビッド®投与期間が短いため用量調節不要、血圧をモニター
ウバダシチニブ	リンヴォック	注意	D	-	↑ ウバダシチニブ	(1.51)	ウバダシチニブ上限15mg/day、副作用をモニター
エスゾピクロン	ルネスタ	-	D	-	↑ エスゾピクロン	(1.77)	エスゾピクロン上限2mg/dayとし、副作用をモニター
エスタゾラム	ユーロジン	禁忌	B	●	↑ エスタゾラム	-	
エストラジオール		注意	-	◆	↓ エストラジオール		
エチゾラム	デパス	-	C	-	↑ エチゾラム	(1.40)	
エチニルエストラジオール		注意	-	▲	↓ エチニルエストラジオール	0.60	
エドキサバン	リクシアナ	-	C	■	↑ エドキサバン	-	パキロビッド®投与期間が短いため併用可能(エドキサバンを50%減量も考慮)
エトスクシミド	エピレオブチマル	-	-	■	↑ エトスクシミド	-	
エトラピリン	インテレンス	注意	D	◆	↑↓ エトラピリン	0.63~1.30	用量調節せず併用可能
エヌトレクチニブ	ロズリートレク	-	D	-	↑ エヌトレクチニブ	(3.28)	エヌトレクチニブを100mg1日1回へ減量
エバスチン	エバステル	-	C	-	↑ カレバスチン(活性代謝物)	(2.28)	副作用をモニター
エファビレンツ	ストックリン	注意	C	▲	↑ エファビレンツ	1.21	副作用(めまい、嘔気、肝酵素上昇 等)をモニター
エブレレノン	セララ	禁忌	X	●	↑ エブレレノン	(2.66)	
エベロリムス	アフィニトール サーティカン	注意	X	●	↑ エベロリムス	(4.01)	
エリグルスタット	サデルガ	-	D	-	↑ エリグルスタット	-	エリグルスタットを84mg1日1回へ減量(酒石酸塩として100mg)
エリスロマイシン	エリスロシン	注意	C	■	↑ エリスロマイシン	-	効果・副作用(QT延長 等)をモニター
エルゴタミン	クリアミン	禁忌	X	●	↑ エルゴタミン	-	
エルロチニブ	タルセバ	-	D	■	↑ エルロチニブ	(1.33)	副作用(下痢、皮膚障害 等)をモニター
エレクトリプタン	レルパックス	禁忌	X	●	↑ エレクトリプタン	(2.90)	Strong CYP3A inhibitor治療後72時間以内のエレクトリプタン使用は避ける
エンコラフェニブ	ピラフトビ	注意	D	■	↑ エンコラフェニブ	(3.20)	エンコラフェニブを減量(e.g. 450mg1日1回→150mg1日1回)

一般名	販売名	添付文書	Lexicomp®	LIVERPOOL	想定される曝露量増減	AUC比 (予測値)	備考
エンザルタミド	イクスタンジ	-	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	
オキシコドン	オキシコンチン オキノーム オキファスト	注意	C	■	↑ オキシコドン	(1.89)	効果・副作用をモニターし、要時減量
オシロドロスタット	イスツリサ	-	D	-	↑ オシロドスタット	-	オシロドロスタットを50%減量
オラパリブ	リムパーザ	-	D	■	↑ オラパリブ	(2.09)	オラパリブを100mg1日2回へ減量、副作用をモニター
カナグリフロジン	カナグル カナリア	-	D	◆	↓ カナグリフロジン	-	
カバジタキセル	ジェブタナ	-	D	-	↑ カバジタキセル	-	カバジタキセルを25%減量することを検討
カボザンチニブ	カボメティクス	-	D	-	↑ カボザンチニブ	(1.38)	カボザンチニブを20mg減量 (e.g. 60mg/day → 40mg/day)
カルバマゼピン	テグレートル	禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	0.45	↑カルバマゼピン
キニジン	キニジン	禁忌	X	●	↑ キニジン	(1.51)	併用が避けられない場合は、効果・副作用(QT延長 等)をモニター
ギルテリチニブ	ゾスパタ	-	D	■	↑ ギルテリチニブ	(1.50)	副作用をモニター
クアゼバム	ドラール	-	-	-	↑ クアゼバム	-	禁忌：リトナビル投与中の患者(cf. ドラール錠添付文書)
グアンファシン	インチュニブ	-	D	-	↑ グアンファシン	(2.16)	グアンファシンを50%減量、副作用をモニター
クエチアピン	セロクエル ビブレッソ	注意	D	●	↑ クエチアピン	(3.38)	クエチアピンを1/6に減量
クラドリビン	ロイスタチン	-	D	■	↑ クラリドビン	-	
クラリスロマイシン	クラリシッド クラリス メインベース	注意	D	■	↑ クラリスロマイシン	1.77	CCr30~60ml/min：クラリスロマイシンを50%減量
クリゾチニブ	ザーコリ	-	D	●	↑ クリゾチニブ	(2.02)	クリゾチニブを250mg1日1回へ減量
グリベンクラミド	オイグルコン ダオニール	-	-	■	↑ グリベンクラミド	-	血糖値をモニター
グレカブレビル/ビブレンタスビル	マヴィレット	注意	X	●	↑ グレカブレビル ビブレンタスビル	4.4~6.5 1.6~2.5	
クロザピン	クロザリル	-	X	●	↑ クロザピン	-	
クロナゼバム	ランドセン リボトリール	-	C	●	↑ クロナゼバム	-	効果・副作用をモニター
クロバザム	マイスタン	-	-	■	↑ クロバザム	-	
クロビドグレル	コンブラビン ブラビックス ロレアス	注意	D	■	↓ クロビドグレル活性代謝物	0.31~0.49	冠動脈ステント留置後6週間以内の患者での併用は避ける(禁忌)
クロラゼパ酸	メンドン	禁忌	C	●	↑ クロラゼパ酸	-	
クロルジアゼポキシド	コントロール バランス	-	C	■	↑ クロルジアゼポキシド	(1.41)	副作用をモニター
ケタミン	ケタラール	-	C	■	↑ ケタミン	-	
ゲフィチニブ	イレッサ	注意	C	■	↑ ゲフィチニブ	(1.72)	副作用をモニター
コルヒチン	コルヒチン	注意	X	●	↑ コルヒチン	3.50~4.00	肝・腎機能低下時禁忌
サキサグリブチン	オングリザ	-	D	■	↑ サキサグリブチン	(1.96)	サキサグリブチン上限2.5mg/day
サクビトリルバルサルタン	エンレスト	-	B	■	↑ LBQ657(活性代謝物)	-	血圧をモニター
サルメテロール	アドエア セレベント	注意	X	●	↑ サルメテロール	16.00	
ジアゼバム	セルシン ホリゾン ダイアアップ	禁忌	C	●	↑ ジアゼバム	-	
シクロスボリン	サンディミュン ネオーラル	注意	D	●	↑ シクロスボリン	(2.16)	血中濃度・効果をモニター
ジゴキシン	ジゴシン	注意	D	■	↑ ジゴキシン	1.36~1.81	ジゴキシンを30~50%減量、TDM
ジソピラミド	リスモダン	-	C	●	↑ ジソピラミド	(1.21)	血中濃度・副作用(QT延長 等)をモニター
ジヒドロコデイン	オピセゾール カフコデ クロフェドリン セキコデ ニチコデ フスコデ フスコブロン ブラコデ ムコプロチン ライトゲン	-	-	■	↑ ジヒドロコデイン	-	鎮痛効果・副作用をモニター
ジルチアゼム	ヘルベッサー	注意	C	■	↑ ジルチアゼム	1.27	副作用(低血圧、徐脈 等)をモニター
シルデナフィル	バイアグラ	注意	D	■	↑ シルデナフィル	(2.61)	シルデナフィル上限25mg/回、48時間毎に1回の使用頻度を超えない
シルデナフィル(PAH)	レバチオ	禁忌	D	●	↑ シルデナフィル	(2.61)	
シロスタゾール	プレタール ホルダゾール	注意	D	-	↑ シロスタゾール	(1.74)	シロスタゾールを50mg1日2回へ減量
シロドシン	ユリーフ	-	X	●	↑ シロドシン	(2.20)	
シロリムス	ラバリムス	-	D	●	↑ シロリムス	(2.97)	シロリムスを50~90%減量考慮、副作用・血中濃度をモニター
シンバスタチン	リボパス	注意	X	●	↑ シンバスタチン	(4.28)	パキロビッド®開始の少なくとも12時間前にシンバスタチン中止
スニチニブ	スーテント	-	D	■	↑ スニチニブ	(1.50)	スニチニブを減量 (e.g. GIST50mg/day → 37.5kmg/day)
スボレキサント	ベルソムラ	禁忌	X	●	↑ スボレキサント	(2.45)	
スルチアム	オスポロット	-	-	■	↑ スルチアム	-	
セリチニブ	ジカディア	-	D	■	↑ セリチニブ	(1.59)	セリチニブを150mg1日1回へ減量
セルベルカチニブ	レットヴィモ	-	D	-	↑ セルベルカチニブ	(1.90)	セルベルカチニブを減量 (e.g, 160mg1日2回 → 80mg1日2回)
セント・ジョーンズ・ワート		禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル	-	
ゾテピン	ロドピン	-	-	■	↑ ゾテピン	-	副作用をモニター
ゾピクロン	アモバン	-	D	■	↑ ゾピクロン	(1.53)	ゾピクロン上限5mg/day、副作用(眠気、呼吸抑制 等)をモニター
ゾルピデム	マイスリー	-	C	■	↑ ゾルピデム	(1.24)	効果・副作用をモニター
ソリフェナシン	ベシケア	-	D	■	↑ ソリフェナシン	(1.70)	ソリフェナシン上限5mg/day
タクロリムス	プログラフ	注意	D	●	↑ タクロリムス	(3.56)	血中濃度・副作用をモニター
ダサチニブ	スプリセル	注意	D	■	↑ ダサチニブ	(2.72)	
タゼメトスタット	タズベリク	-	X	-	↑ タゼメスタット	(3.10)	

一般名	販売名	添付文書	Lexicomp®	LIVERPOOL	想定される曝露量増減	AUC比 (予測値)	備考
タダラフィル	ザルティア シアリス	注意	D	■	↑ タダラフィル	2.24	(BPH)タダラフィル上限2.5mg/day(ED)タダラフィル上限10mg/回、72時間毎に1回の頻度を超えない
タダラフィル(PAH)	アドシルカ	禁忌	D	●	↑ タダラフィル	2.24	バキロビット®開始の少なくとも24時間前にタダラフィル中止
ダビガトラン	ブラザキサ	-	B	■	↑ ダビガトラン	-	腎障害がある場合、副作用モニターを強化
ダブラフェニブ	タフィンラー	-	D	●	↑ ダブラフェニブ	(1.41)	副作用をモニター
タムスロシン	ハルナール	-	X	●	↑ タムスロシン	(2.38)	
タモキシフェン	ノルパデックス	注意	-	▲	↑ タモキシフェン	-	
チオテバ	リサイオ	-	D	-	↑ チオテバ	-	↓TEPA(活性代謝物)、効果・副作用をモニター
チカグレロル	ブリリンタ	禁忌	X	●	↑ チカグレロル	(3.20)	↓AR-C124910XX(活性代謝物)
テオフィリン	テオドル テオロング ユニコン ユニフィル	注意	C	▲	↓ テオフィリン	(0.84)	効果・血中濃度をモニター
デキサメタゾン	デカドロン デキサート	注意	C	◆	↑ デキサメタゾン	(2.36)	副作用をモニター
デフェラシロクス	ジャドニユ	-	D	-	↓ デフェラシロクス	-	デフェラシロクスの初期用量50%増量を検討
テボチニブ	テブミトコ	-	X	-	↑ テボチニブ	-	
テムシロリムス	トーリセル	-	D	-	↑ テムシロリムス	-	テムシロリムスを12.5mg/週へ減量し、効果・副作用をモニター
テラゾシン	バソメット	-	-	■	↑ テラゾシン	-	バキロビット®投与期間が短いため併用可能
デラマニド	デルティバ	-	D	■	↑ デラマニド	1.22	QT延長リスク増加、ECGを頻回モニター
ドキサゾシン	カルデナリン	-	C	■	↑ ドキサゾシン	-	副作用(低血圧、めまい、疲労 等)をモニター
ドセタキセル	タキソテール ワンタキソテール	-	D	-	↑ ドセタキセル	-	ドセタキセルを50%減量検討
トファシチニブ	ゼルヤンツ	注意	D	■	↑ トファシチニブ	(1.77)	(RA)トファシチニブを5mg1日1回へ減量(UC)トファシチニブを50%減量
トラスツマブ エムタンシン	カドサイラ	-	D	-	↑ トラスツマブ エムタンシン	-	
トラゾドン	デジレル レスリン	注意	D	■	↑ トラゾドン	2.40	減量を検討し、効果・副作用(鎮静、QT延長 等)をモニター
トラベクテジン	ヨンデリス	-	X	-	↑ トラベクテジン	-	
トラマドール	ツートラム トアラセット トラマール トラムセット ワントラム	-	C	■	↑ トラマドール	(1.07)	↓M1(活性代謝物)、鎮痛効果・副作用をモニター
トリアソラム	ハルシオン	禁忌	X	●	↑ トリアソラム	3.77	
トリアムシノロン	レダコート	注意	D	■	↑ トリアムシノロン	-	副作用をモニター
トルテロジン	デトルシトール	-	D	-	↑ トルテロジン	(1.90)	トルテロジン上限2mg/day
トルバプタン	サムスカ	-	X	●	↑ トルバプタン	(2.78)	
トレミフェン	フェアストン	注意	D	-	↑ トレミフェン	(2.09)	副作用(QT延長 等)をモニター
ドンペリドン	ナウゼリン	-	X	●	↑ ドンペリドン	(2.45)	
ナテグリニド	スターシス ファスティック	-	-	■	↓ ナテグリニド	(0.92)	血糖値をモニターし、要時用量調節
ナルデメジン	スインプロイク	-	C	-	↑ ナルデメジン	(1.96)	副作用(腹痛、嘔気、下痢 等)をモニター
ニカルジピン	ベルジピン	注意	C	■	↑ ベルジピン	-	副作用(低血圧、浮腫 等)をモニター
ニトレンジピン	バイニロード バイロテンシン	注意	C	■	↑ ニトレンジピン	-	副作用(低血圧、浮腫 等)をモニター
ニフェジピン	アダラート セバミット	注意	D	■	↑ ニフェジピン	(2.32)	副作用(低血圧、浮腫 等)をモニター
ニルバジピン	ニバジール	注意	C	-	↑ ニルバジピン	-	副作用(低血圧、浮腫 等)をモニター
ニロチニブ	タシグナ	注意	D	■	↑ ニロチニブ	(2.12)	ニロチニブを300mg1日1回へ減量 (初発は200mg1日1回へ減量)
ネビラピン	ピラミューン	注意	-	▲	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	
パソパニブ	ヴォトリエント	-	X	■	↑ パソパニブ	(1.48)	
パノピノスタット	ファリーダック	-	D	■	↑ パノピノスタット	(1.55)	パノピノスタットを10mgへ減量、副作用をモニター
バルサルタン	アテディオ アムパロ エックスフォージ エンレスト コディオ ディオバン バルヒディオ	-	B	■	↑ バルサルタン	-	バキロビット®投与期間が短いため用量調節不要、血圧をモニター
バルデナフィル	レビトラ	禁忌	D	●	↑ バルデナフィル	(4.59)	
バルニジピン	ヒボカ	-	X	-	↑ バルニジピン	-	
バルプロ酸Na	セレニカ デパケン	注意	C	▲	↓ バルプロ酸Na	-	効果・血中濃度をモニター
バルボシクリブ	イブラン	-	D	■	↑ バルボシクリブ	(1.63)	バルボシクリブを75mg1日1回へ減量、副作用をモニター
ハロペリドール	セレネース	-	C	■	↑ ハロペリドール	(1.53)	副作用をモニター
ヒドロモルフォン	ナルサス ナルベイン ラルラビド	-	-	■	↓ ヒドロモルフォン	-	鎮痛効果減弱の可能性
ピラスチン	ピラノア	-	X	-	↑ ピラスチン	-	中等度～重度腎障害患者では併用を厳に避ける
ピロキシカム	パキソ	禁忌	X	■	↑ ピロキシカム	-	
ピンクリスチン	オンコピン	注意	D	■	↑ ピンクリスチン	-	副作用(神経障害、胃腸障害、骨髄抑制 等)をモニター
ピンブラスチン	エクザール	注意	C	■	↑ エクザール	-	副作用をモニター
フィネレノン	ケレンディア	-	X	●	↑ フィネレノン	(2.66)	禁忌：リトナビル含有製剤投与中の患者(cf. ケレンディア錠添付文書)
フェキソフェナジン	アレグラ ディレグラ	-	B	▲	↑ フェキソフェナジン	-	副作用をモニター
フェソテロジン	トビエース	-	D	-	↑ フェソテロジン	(2.09)	フェソテロジン上限4mg/day
フェニトイン	アレビアチン ヒダントール	禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	↓フェニトイン
フェノバルビタール	トランコロンP ノーベルバル ヒダントール フェノバル	禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	↓フェノバルビタール
フェロジピン	スプレンジール	注意	D	■	↑ フェロジピン	(3.20)	効果・副作用をモニター

一般名	販売名	添付文書	Lexicomp®	LIVERPOOL	想定される曝露量増減	AUC比 (予測値)	備考
フェンタニル	アブストラル イーフェンバックル デュロテップMT フェントス ラフェンタ ワンデュロ	注意	D	■	↑ フェンタニル	-	副作用をモニター、要時フェンタニルを減量
ブデソニド(吸入)	シムピコート バルミコート ビレーズトリ	注意	D	▲	↑ ブデソニド	2.72	副作用をモニター
ブデソニド(経口)	ゼンタコート	注意	D	◆	↑ ブデソニド	(3.04)	副作用をモニター
ブデソニド(注腸)	レクタブル	注意	X	◆	↑ ブデソニド	-	
ブピバカイン	ボブスカイン マーカイン	-	-	■	↑ ブピバカイン	-	
ブリグチニブ	アルンブリグ	-	D	■	↑ ブリグチニブ	(1.72)	ブリグチニブを50%減量し、副作用をモニター
プリミドン	プリミドン	-	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	↓ プリミドン
フルコナゾール	ジフルカン	注意	-	◆	↑ フルコナゾール	-	
フルチカゾン(吸入)	アドエア アニュイティ テリルジー フルタイド フルティフォーム レルベア	注意	D	◆	↑ フルチカゾン	-	
フルチカゾン(点鼻)	アラミスト フルナーゼ	禁忌	X	◆	↑ フルチカゾン	368	代替点鼻ステロイド(ベクロメタゾン 等)を考慮
フルニトラゼパム	サイレース	-	-	■	↑ フルニトラゼパム	-	
フルラゼパム	ダルメート	禁忌	C	●	↑ フルラゼパム	-	
フレカイニド	タンボコール	禁忌	X	●	↑ フレカイニド	(1.04)	
ブレクスピブラゾール	レキサルティ	-	D	-	↑ ブレクスピブラゾール	(1.81)	ブレクスピブラゾールを50%減量
プロチゾラム	レンドルミン	-	-	-	↑ プロチゾラム	(3.04)	
プロナンセリン	ロナセン	禁忌	X	-	↑ プロナンセリン	(3.89)	
プロパフェノン	プロノン	禁忌	X	●	↑ プロパフェノン	(1.15)	
プロモクリブチン	パーロデル	注意	D	-	↑ プロモクリブチン	-	副作用をモニターし、減量を検討する
ベダキリン	サチュロ	-	D	■	↑ ベダキリン	(1.14)	副作用(QT延長 等)をモニター
ベチジン	ベチロルファン	-	-	●	↑ ノルベチジン(活性代謝物)	1.47	
ベネトクラクス	ベネクレクスタ	注意	D	●	↑ ベネトクラクス	6.10~7.90	再発・難治性CLL用量漸増期は禁忌
ベプリジル	ベプリコール	禁忌	-	●	↑ ベプリジル		
ベミガチニブ	ベマジール	-	D	-	↑ ベミガチニブ	(1.63)	ベミガチニブを減量 (e.g. 13.5mg/day → 9mg/day)
ベムラフェニブ	ゼルボラフ	-	D	-	↑ ベムラフェニブ	(1.31)	
ベラバミル	ワソラン	注意	C	■	↑ ベラバミル	-	副作用(低血圧、徐脈 等)をモニター
ペランパネル	フィコンパ	-	-	■	↑ ペランパネル	(1.99)	副作用をモニター
ペロトラルスタット	オラデオ	-	D	-	↑ ペロトラルスタット	-	ペロトラルスタットを110mg1日1回へ減量
ボサコナゾール	ノクサフィル	-	-	■	↑ ニルマトレルビル/rtv	-	
ホスアブレピタント	ブロイメンド	-	X	-	↑ ホスアブレピタント	-	
ボスチニブ	ボシュリフ	-	X	●	↑ ボスチニブ	(2.56)	
ホスフェニトイン	ホストイン	禁忌	X	-	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	↓ ホスフェニトイン
ホスフルコナゾール	プロジフ	注意	-	-	↑ ニルマトレルビル/rtv ホスフルコナゾール	-	
ボセンタン	トラクリア	注意	D	●	↑ ボセンタン	5.00	パキロビッド®バック開始の少なくとも36時間前に中止
ボナチニブ	アイクルシグ	-	D	■	↑ ボナチニブ	(1.34)	ボナチニブを減量 (e.g. 45mg/day → 30mg/day)
ボリコナゾール	ブイフェンド	禁忌	D	■	↓ ボリコナゾール	0.61	
マシテタン	オプスミット	-	X	■	↑ マシテタン	(1.82)	
マニジピン	カルスロット	-	D	-	↑ マニジピン	-	副作用をモニター
マラビロク	シーエルセントリ	注意	D	■	↑ マラビロク	2.61	マラビロクを150mg1日2回へ減量
ミコナゾール	フロリード	注意	-	◆	↑ ミコナゾール	-	
ミダゾラム	ドルミカム ブコラム ミダフレッサ	禁忌	X	●	↑ ミダゾラム	1.5~5.1	経口は禁忌、静注・筋注での使用を検討(cf. Lexicomp®)
ミトタン	オベプリム	-	X	-	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	
ミラベグロン	ベタニス	-	B	■	↑ ミラベグロン	(1.55)	肝・腎機能低下では25mg1日1回へ減量推奨
メキシレチン	メキシチール	-	-	■	↑ メキシレチン	(1.02)	血中濃度上昇の程度は限定的
メサドン	メサペイン	-	D	▲	↑ メサドン	-	メサドン減量を検討、効果・副作用をモニター
メチルエルゴメトリン	パルタンM	禁忌	X	●	↑ メチルエルゴメトリン	-	
モダフィニル	モディオダール	-	C	▲	↓ ニルマトレルビル/rtv	-	
モルヒネ	アンバック MSコンチン MSツワイスロン オブソ パシーフ	-	C	■	↑ M6G(活性代謝物)	-	効果・副作用をモニター
ラパチニブ	タイケルブ	-	D	■	↑ ラパチニブ	(2.36)	ラパチニブを500mg/dayへ減量
ラベタロール	トランデート	-	-	■	↓ ラベタロール	-	パキロビッド®投与期間が短いため用量調節不要、血圧をモニター
ラモトリギン	ラミクタール	注意	C	◆	↓ ラモトリギン	0.50~0.68)	効果・血中濃度をモニター
ラロトレクチニブ	ヴァイトラックビ	-	D	-	↑ ラロトレクチニブ	(2.78)	ラロトレクチニブを50%減量
リオシグアト	アデムパス	禁忌	D	■	↑ リオシグアト	(1.90)	副作用をモニター
リスベリドン	リスパダール	-	C	■	↑ リスベリドン	(1.57)	効果・副作用をモニター
リドカイン	キシロカイン	注意	C	■	↑ リドカイン	(1.55)	(経口)副作用をモニター、(静注・筋注)対応不要
リバーロキサバン	イグザレルト	禁忌	X	●	↑ リバーロキサバン	2.50	
リファブチン	ミコブティン	禁忌	D	■	↑ リファブチン	4.00	リファブチンを150mg1日1回へ減量考慮
リファンシシン	リファジン	禁忌	X	●	↓ ニルマトレルビル/rtv	(0.30)	
ルキシソリチニブ(全身)	ジャカビ	-	D	■	↑ ルキシソリチニブ	(1.61)	ルキシソリチニブを50%減量
ルパタジン	ルバフィン	-	X	-	↑ ルパタジン	(3.46)	

一般名	販売名	添付文書	Lexicomp®	LIVERPOOL	想定される曝露量増減	AUC比 (予測値)	備考
ルラシドン	ラツータ	禁忌	X	●	↑ ルラシドン	(2.32)	
レゴラフェニブ	スチバーガ	-	X	●	↑ レゴラフェニブ	(1.17)	
レテルモビル	ブレバイミス	-	X	◆	↓ レテルモビル	-	
レパグリニド	シュアポスト	-	C	■	↑ レパグリニド	-	血糖値をモニターし、要時用量調節
レルゴリクス	レルミナ	-	D	-	↑ レルゴリクス	-	
レンボレキサント	デエピゴ	-	X	-	↑ レンボレキサント	(2.55)	
ロクロニウム	エスラックス	-	-	■	↑ ロクロニウム	-	
ロスバスタチン	クレストール ロスーゼット	注意	C	■	↑ ロスバスタチン	1.26~2.10	副作用をモニターし、ロスバスタチンの一時休薬を検討する
ロピナビル/リトナビル	カレトラ	-	X	■	↑ ロピナビル	1.50	
ロベラミド	ロベミン	注意	B	■	↑ ロベラミド	2.20	過剰量の使用を避ける
ロミタビド	ジャクスタビッド	禁忌	X	●	↑ ロミタビド	(4.43)	
ロルラチニブ	ローブレナ	-	D	●	↑ ロルラチニブ	(1.32)	ロルラチニブを減量 (e.g. 100mg/day → 75mg/day)
ワルファリン	ワーファリン	注意	C	■	↓ ワルファリン	0.67	INRをモニターし、要時用量調節

[参考]

1) Lexicomp® Drug Interactions. -Nirmatrelvir and Ritonavir-. [最終アクセス：2022年8月12日]. (<https://online.lexi.com/lco/action/interact>)

2) UNIVERSITY OF LIVERPOOL. Interaction Checker -COVID-19 Drug Interactions-. [最終アクセス：2022年8月12日]. (<https://www.covid19-druginteractions.org/checker>)

3) DDI-Predictor. [最終アクセス：2022年8月12日]. (<https://www.ddi-predictor.org/>)

4) 大野 能之, 他. これからの薬物相互作用マネジメント 臨床を変えるPISCSの基本と実践 第2版. じほう. 2021.

5) 大野 能之, 他. 医療現場のための薬物相互作用リテラシー. 南山堂. 2019

6) 伊藤 清美, 他. 医療現場における薬物相互作用へのかかわり方ガイド. 日本医療薬学会 医療薬学学術第一小委員会. 2019. (<https://www.jsphcs.jp/news/2019/1114-1.html>)

7) 米澤 淳, 他. パキロビッド(ニルマトレルビル/リトナビル)の薬物相互作用マネジメントの手引ー第1.1版ー. 一般社団法人 日本医療薬学会. 2022. (<https://www.jsphcs.jp/news/2022/0228-1.html>)

8) パキロビッド®バック300/600添付文書 2023年3月改訂(第1版). (文責 薬剤科DI室 早船、後藤、宮原)